

2023年度スタート サステナビリティ共創プログラム ーSDGsとジェンダー 教員紹介（動画説明付き）

同志社大学大学院総合政策科学研究科

2024年6月

アウトライン

1 紀要特集号のご案内

2 プログラム・コンセプト

3 科目体系

4 教員紹介（動画説明付き）

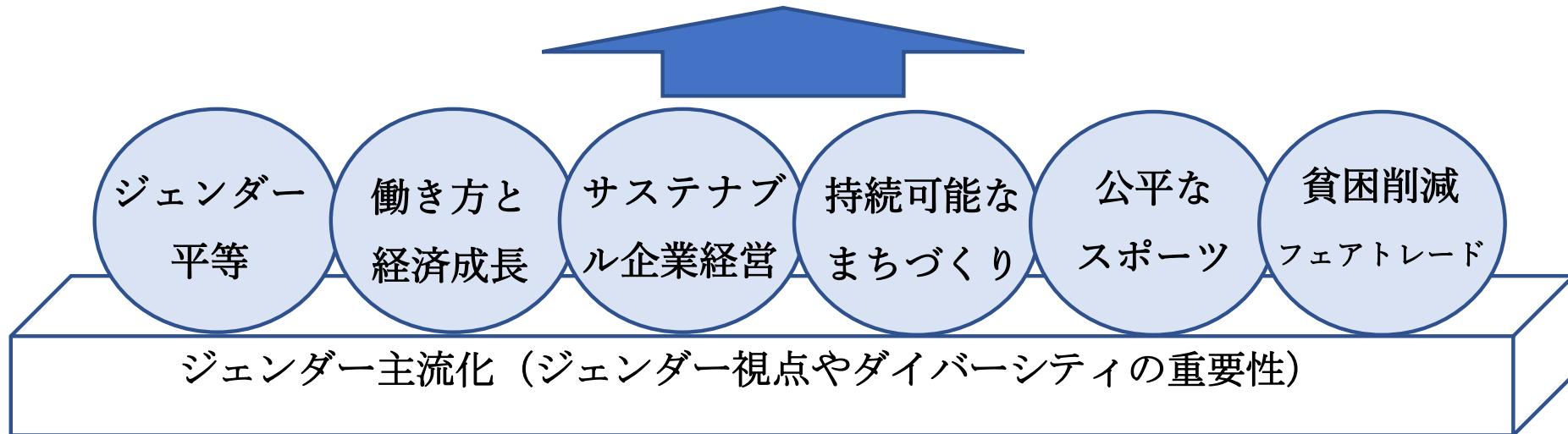
1 紀要特集号のご案内

(2023年度に開講された大学院新プログラムに合わせて、2024年3月発行の学術雑誌『同志社政策科学研究』第25巻第2号に、本プログラムの特集号が組まれました)



2 プログラム・コンセプト

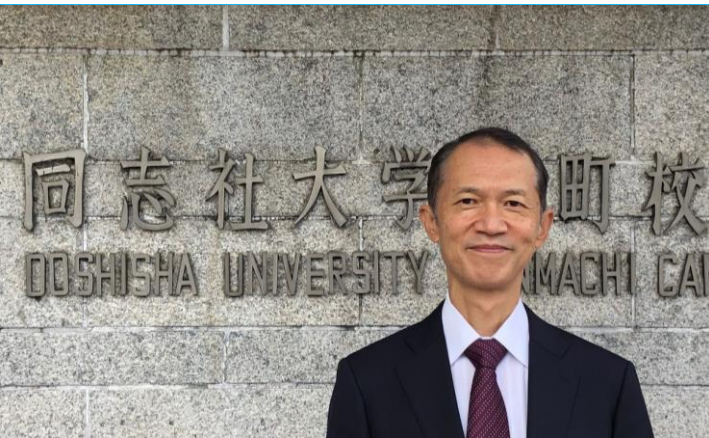
政策立案、企業経営、起業、投資、国際協力、グローバル・パートナーシップ構築において、ダイバーシティを土台にした様々な提案・提言ができる人材を育成する



3 科目体系

必須科目	履修必須	SDGs 概論（オムニバス）
		政策研究プロジェクト
選択科目	右記から 3 つ選択	① 雇用政策論研究（川口）
		② 現代社会の労働・雇用（田中）
		③ 起業論（足立）
		④ 金融経済教育（足立）
		⑤ 国際開発論研究（開発とジェンダー）（新見）
		⑥ グローバル経済論研究（貿易とジェンダー）（岡本）
		⑦ 現代行政法研究（まちづくりとジェンダー）（小谷）
		⑧スポーツ法政策研究（スポーツとジェンダー）（川井）

4 教員紹介（動画説明付き）



川口 章

同志社大学

総合政策科学研究科教授

5 ジェンダー平等を
実現しよう



10 人や国の不平等
をなくそう



専門：労働経済学、ジェンダー政策、人的資源管理

担当科目：雇用政策論研究

研究テーマ：ワークライフバランス、性別役割分担、
職場における女性差別／活躍

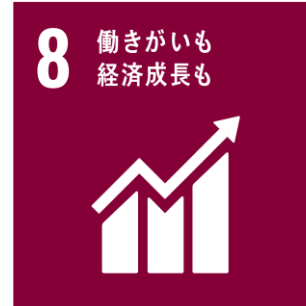
主な著書：『日本のジェンダーを考える』有斐閣、2013年

経歴：オーストラリア国立大学経済学博士学位取得後、メルボルン
大学に勤務。オーストラリア、インドにて、学部学生と海外
フィールドワーク実施。

説明動画はこちらから



田中 秀樹（たなか・ひでき） 総合政策科学研究科 准教授
専門分野：雇用政策，人的資源管理論，組織行動論
担当（予定）科目：人材・組織マネジメント研究，現代社会の雇用と労働



「働きがい（＝ワーク・エンゲージメント）を高めるためには？」という研究を進めています

⇒「長時間労働，正規－非正規の賃金格差（やワーキング・プア問題）を解決して，男性・女性・障がいの有無・年齢など関係なくみんなが働きがいを感じて労働に取り組むことができる環境づくりが求められる」という信念のもと研究に取り組んでいます。日本の場合は，「働き方改革」の成否がそのカギを握ると考え，働き方改革が働きがいを高める効果について研究を進めています。

雇用におけるジェンダー問題を解決するためには，「多様な人材が活躍できる多様性（diversity）と受容性（あるいは包摂性：inclusion）のある労働現場を実現する」ことが求められます

⇒多様な人材が働きがいを感じながら活躍して，各人の職業（仕事）生活を通じて持続的な社会参加を可能にするための方策を一緒に考えましょう。

（上記に関連するこれまでの取り組み）

政策現場との連携 京都府雇用政策（「府民躍動 雇用応援★夢プラン」）策定において，「新しい働き方」部会代表者としてサテライトオフィス・テレワーク活用促進，従業員の意欲を引き出す取組支援や働き方改革の推進など「京都府就業支援・人材確保計画」に向けた取り組みへの助言・意見とりまとめに関与

企業との連携 一部上場企業における従業員働きがい調査（平時及びテレワーク時）における協働，など多数

説明動画はこちらから





足立光生

同志社大学大学院総合政策科学研究科 教授
博士（経済学）

<https://adachi.doshisha.ac.jp>



○研究領域

投資、企業、市場、そして金融経済教育

○近年刊行した一般書（単著）

『先輩！ビジネスセンスの磨き方を教えてください！起業からイメージする金融経済教育』中央経済社、2021年9月

○最近取り組んだ研究（単独）

・「持続可能な社会を真に実現するESG経営－新たな評価フレームワークの構築と提言－」日本学術振興会・科学研究費助成事業「学術研究助成基金助成金・基盤研究（C）」2020年4月～2024年3月

・「サステナブル投資によるサプライチェーンの透明化－人権デューデリジェンスの視点から－」”諸君ヨ、人一人ハ大切ナリ”同志社大学SDGs研究プロジェクト 2022年

○最近刊行した研究成果（単著）

「ESG経営と市場評価－従業員のジェンダーダイバーシティを例として－」同志社政策科学研究 25(2) 1-9、2024年3月

説明動画はこちらから



新見 陽子

専門：国際開発，国際協力，家計行動

担当科目：国際開発論研究

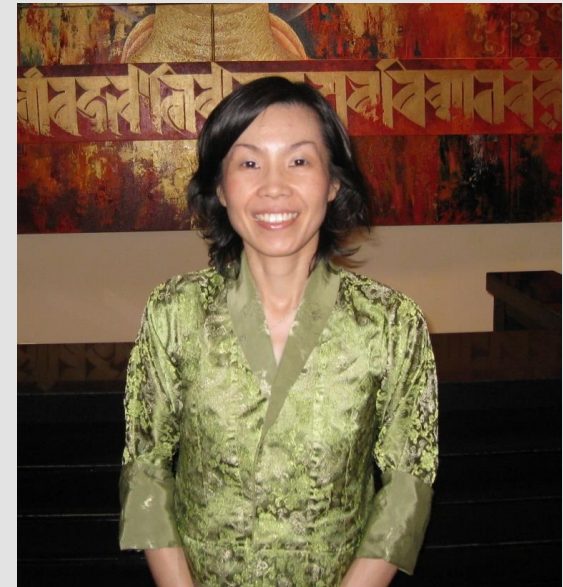
研究テーマ：

貧困，格差，世代間移動，幸福度，高齢化問題
ジェンダー関連の研究：
世帯内の資源配分，男女格差，女性の資産形成など

経歴：

中学校卒業後，単身で英国に留学。アジア開発銀行・世界銀行に勤務。アジア開発銀行では，長年持続可能な開発に取り組んできたブータンを担当。

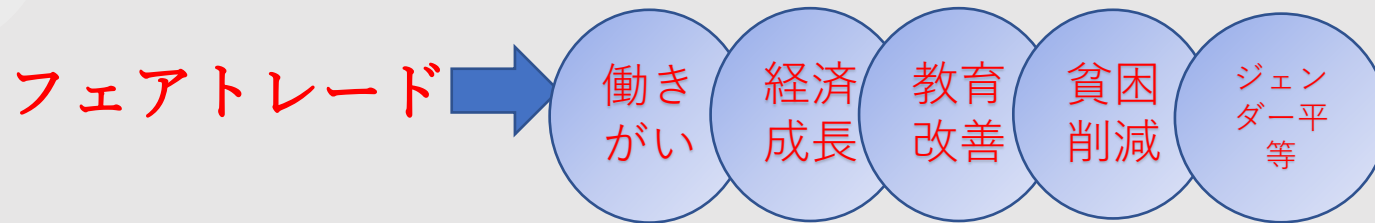
説明動画はこちらから



岡本由美子

<https://researchmap.jp/read0186042/>

専門：国際経済、国際開発
担当科目：グローバル経済論研究
ジェンダー視点が拓くフェアトレードの可能性と未来
＜研究のコンセプト＞



ジェンダー主流化
(ジェンダー視点の重要性)

神戸大学大学院、名古屋大学大学院、
ブランダイス大学大学院（米国）、
ラプラタ大学、チリ大学、南京会計
大学で教鞭をとる。現在、ウガンダ
が第2の故郷になりつつあります。



説明動画はこちらから



小谷 真理

専門：行政法、環境法

担当科目：現代行政法研究（まちづくりとジェンダー）

研究テーマ：行政基準の正統性、行政裁量の統制、
ごみ屋敷・空き家問題、環境学習施設、エネルギー政策

関連する活動：上京区基本計画2025の策定、三田市まちづくり基本条例
住民投票制度検討委員会、枚方京田辺可燃ごみ広域処理施設整備・運
転者選定、大阪市都市景観委員会などに携わってきました。

住民参画を基本とするまちづくりにおいて、ジェンダーの視点
からの検討、多様性の担保は、公正性の観点からも行政過程の
正統性を裏付けるものとして重要な論点です。

11 住み続けられる
まちづくりを



13 気候変動に
具体的な対策を



16 平和と公正を
すべての人に



17 パートナースhipで
目標を達成しよう





川井 圭司

説明動画はこちらから



専門：スポーツ法学・スポーツ法政策

担当科目：スポーツ法政策研究

研究テーマ：スポーツ法政策の国際比較研究

プロスポーツの労使関係、競技団体の意思決定、ガバナンス、学校スポーツ暴力・体罰問題、スポーツ事故の法的責任と補償、オリンピック・パラリンピックなど
主な著書：『プロスポーツ選手の法的地位』『スポーツビジネスの法と文化：アメリカと日本』

スポーツとジェンダー：

近年、スポーツ界でジェンダーとオリンピック出場資格をめぐる議論が沸き起こりました。**性分化疾患**の選手や**トランスジェンダー**選手の女子競技への参加についてです。またアメリカでは**サッカー女子代表選手**らが労働条件について男子代表と平等に扱われるべきだと主張して訴訟を提起しました。これらの動向について皆さんと議論を交わしたいと考えています。

その他、インドでFWを実施しており、女子ラグビー発展の背景にも関心を持っています<写真はインドFWで的一幕>。



何かご質問があれば？

本大学院新プログラムに関するご質問は、
同プログラムコーディネーターの

岡本由美子

yokamoto@mail.doshisha.ac.jp

まで、お問い合わせください。